

2009年3月期 第1四半期 決算説明資料

平田機工株式会社 2008.8.18



The Global Production Engineering Company
Hirata



The logo features the word "Hirata" in a large, bold, blue sans-serif font. Below it, the tagline "The Global Production Engineering Company" is written in a smaller, grey sans-serif font. The text is set against a white rectangular background that is slightly offset to the right, creating a layered effect. A yellow diagonal line runs across the bottom of the white box. The entire graphic is set against a dark grey background with a blue horizontal bar at the top of the slide.

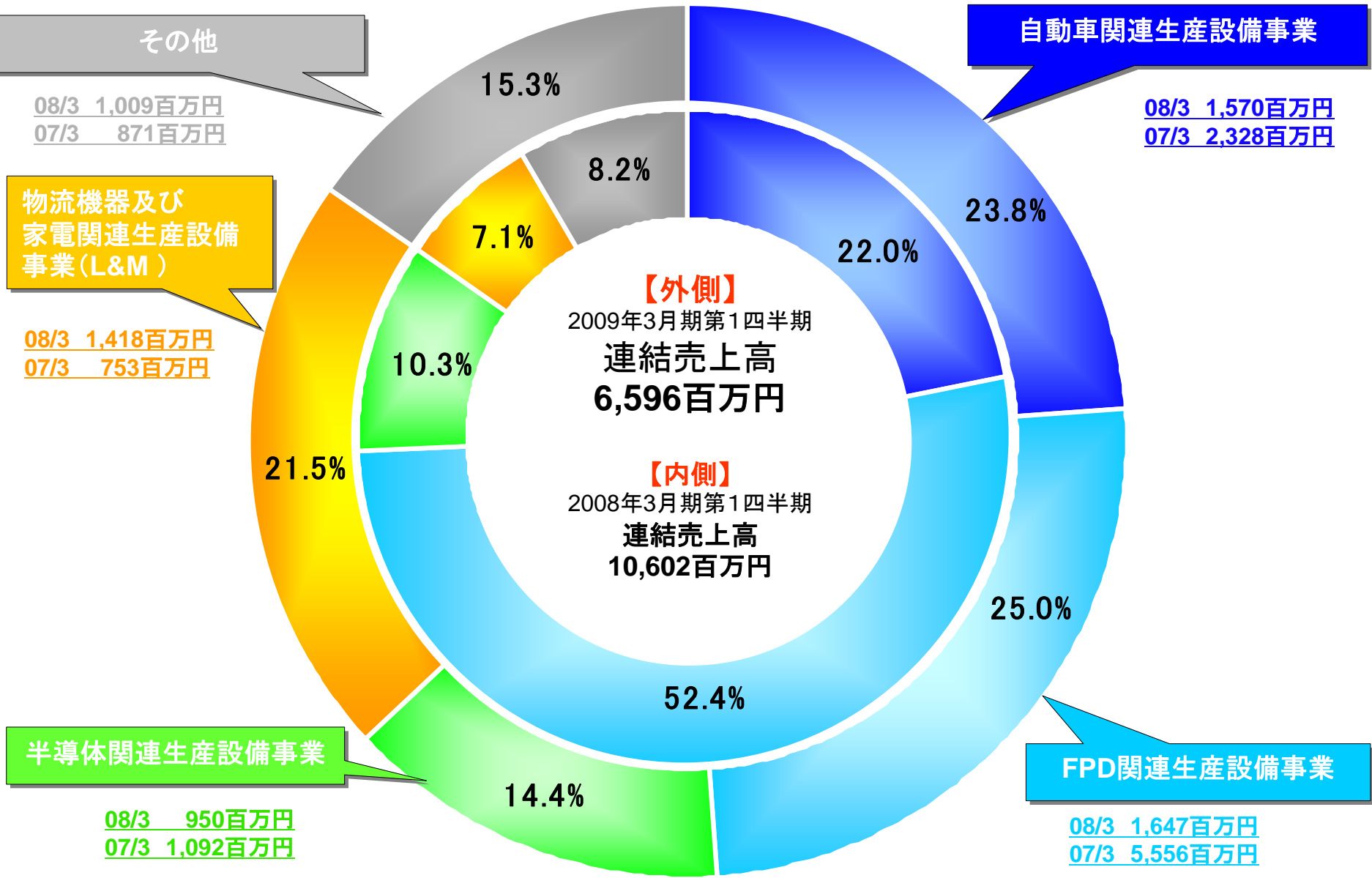
Hirata

The Global Production Engineering Company

I 決算状況

2009年3月期 第1四半期 (2008年6月30日)

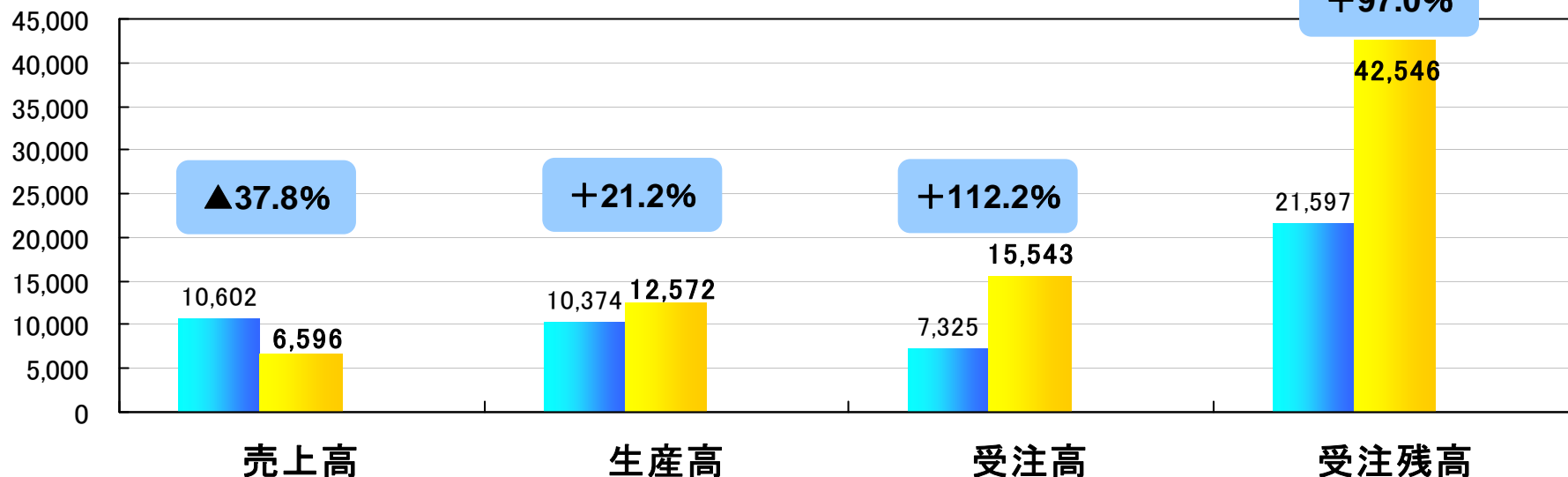
I 決算状況 事業部門別売上高構成比



I 第1四半期決算状況

対前年同期比 連結売上・受注状況

単位:百万円



■売上高は前年同期比37.8%減の6,596百万円に留まるが、生産高、受注高、受注残高ともに前年同期比を上回る水準。

当四半期は自動車・FPD関連生産設備事業の大口案件を中心に生産を行い、各工場の生産状況は順調であったため、生産高は12,572百万円(対前年同期比21.2%増)を計上。

しかし、これらの大口案件の売上は第2四半期以降の予定であり、当四半期売上高は6,596百万円(同37.8%減)と低い水準に留まった。

また、受注状況は順調であり、受注高は15,543百万円(同112.2%増)、受注残高は42,546百万円(同97.0%増)と好調を維持した。

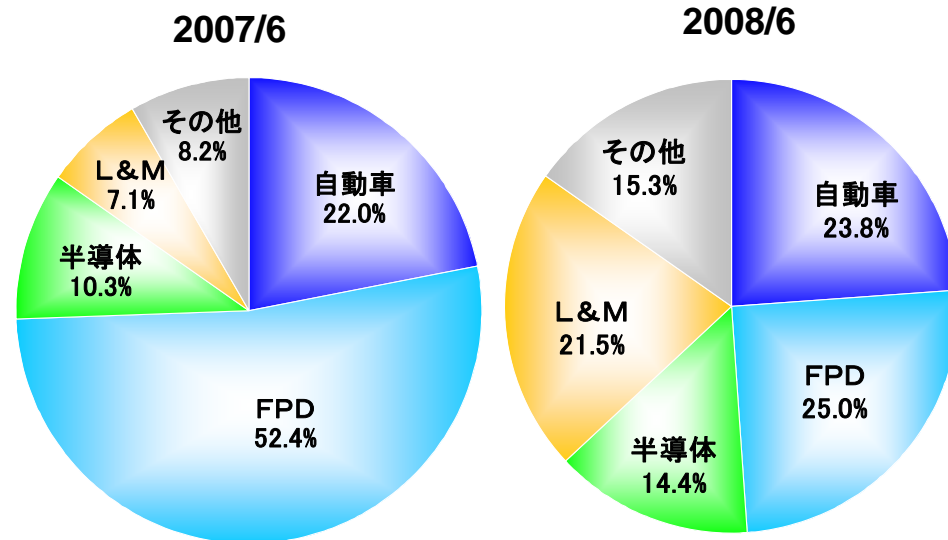
■自動車、FPDは売上の谷間となり減収。L&Mはタイヤ関連等の売上で大幅増。

- ・ 自動車関連設備は、大口案件の売上予定が第2四半期以降のため減収(▲32.5%)
- ・ FPD関連設備も、当四半期は小口案件の売上が中心であったため大幅減収(▲70.3%)
- ・ 半導体関連設備も売上の谷間となり減収(▲13.0%)
- ・ L&M関連設備は、タイヤ関連設備が好調であり大幅増収(+88.2%)

事業部門別売上高の状況

単位:百万円

事業部門	2007/6	2008/6	対前年同期比
自動車	2,328	1,570	▲32.5%
FPD	5,556	1,647	▲70.3%
半導体	1,092	950	▲13.0%
L&M	753	1,418	+88.2%
その他	871	1,009	+15.8%
合計	10,602	6,596	▲37.8%



I 決算状況 事業部門別実績 地域別連結売上高

■国内向けは大幅減。アジア・欧州向けは大幅増。北米向けは微減。

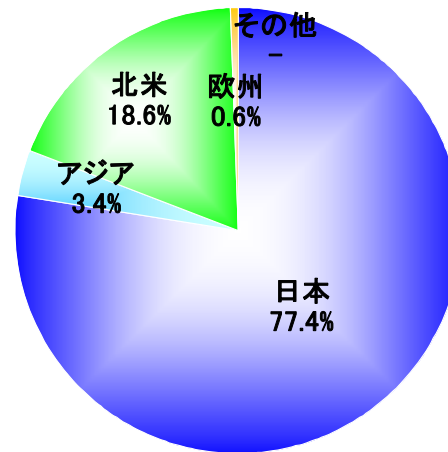
- ・ 日本国内向けは、自動車、FPD関連設備の売上が少なかったことにより大幅減少(▲65.7%)
- ・ アジア向けは、ハードディスク関連設備等により大幅増(+379.3%)
- ・ 北米は、前年同期と同様、自動車関連設備の売上が少なく、ほぼ横ばい(微減)(▲2.6%)
- ・ 欧州は同地域の当社子会社の販売増により大幅増(+138.4%)

地域別売上高の状況

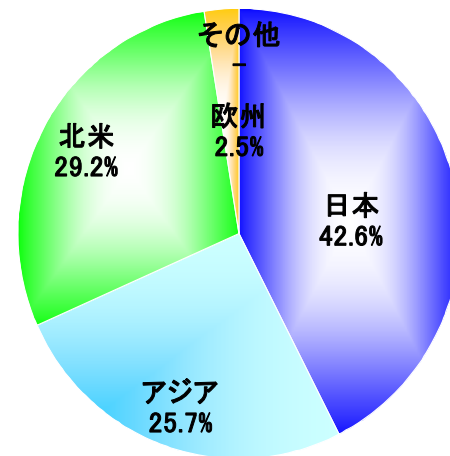
単位:百万円

地域	2007/6	2008/6	対前年同期比
日本	8,205	2,812	▲65.7%
アジア	354	1,698	+379.3%
北米	1,974	1,923	▲2.6%
欧州	68	162	+138.4%
その他	—	—	—
合計	10,602	6,596	▲37.8%

2007/6



2008/6



I 決算状況 事業部門別実績 連結受注高

■全ての事業部門で受注増加。特に自動車関連設備が大幅増。

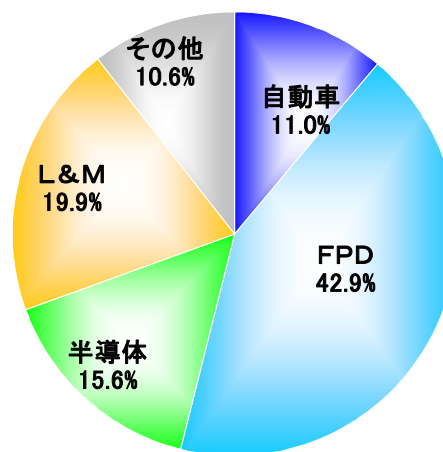
- 自動車関連生産設備は、国内・北米向けパワートレイン系、部品系を中心に大幅増(+212.6%)
- FPD関連生産設備は、ヘッドコーター、ローダー等を中心に大幅増(+129.8%)
- 半導体関連生産設備は、継続取引先からの受注案件が重なり増加(+58.2%)
- L&M関連生産設備は、デジタル家電関連設備を中心に大幅増(+101.5%)

事業部門別受注高の状況

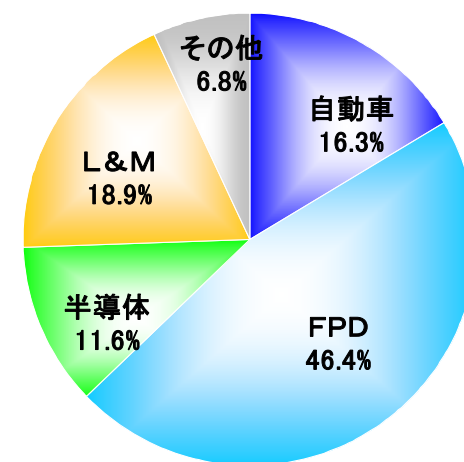
単位:百万円

事業部門	2007/6	2008/6	対前年同期比
自動車	809	2,531	+212.6%
FPD	3,141	7,219	+129.8%
半導体	1,140	1,803	+58.2%
L&M	1,454	2,931	+101.5%
その他	778	1,058	+35.9%
合計	7,325	15,543	+112.2%

2007/6



2008/6



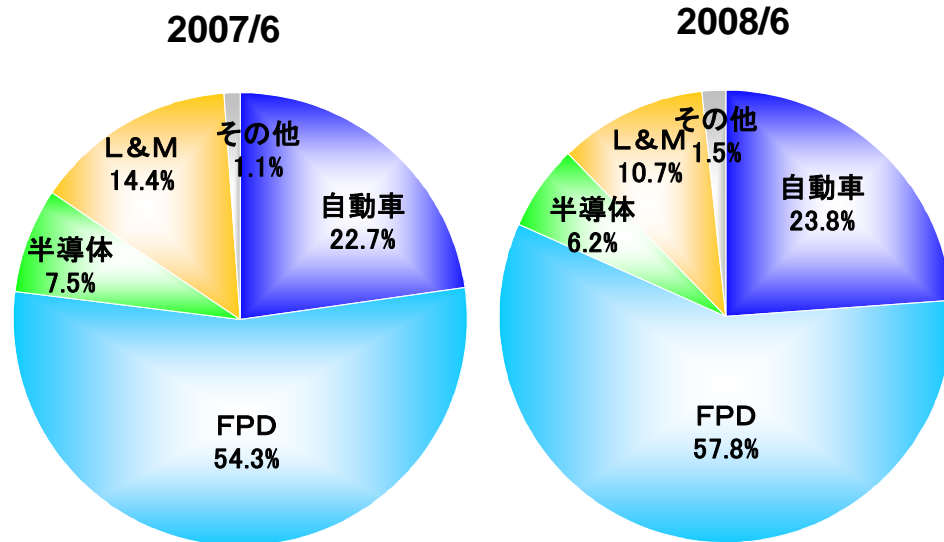
I 決算状況 事業部門別実績 連結受注残高

■全事業部門共に増加。特に自動車・FPD関連設備が大幅増。

- 自動車関連生産設備は、北米向け大口案件を仕掛中であり、大幅増(+106.4%)
- FPD関連生産設備は、国内、中国向け案件を中心に大幅増(+109.7%)
- 半導体関連生産設備は、継続取引先からの受注案件の重なりにより大幅増(+63.0%)
- L&M関連生産設備は、タイヤ関連設備を中心に増加(+46.6%)

事業部門別受注残高の状況 単位:百万円

事業部門	2007/6	2008/6	対前年同期比
自動車	4,900	10,116	+106.4%
FPD	11,720	24,574	+109.7%
半導体	1,612	2,627	+63.0%
L&M	3,118	4,570	+46.6%
その他	245	656	+167.1%
合計	21,597	42,546	+97.0%



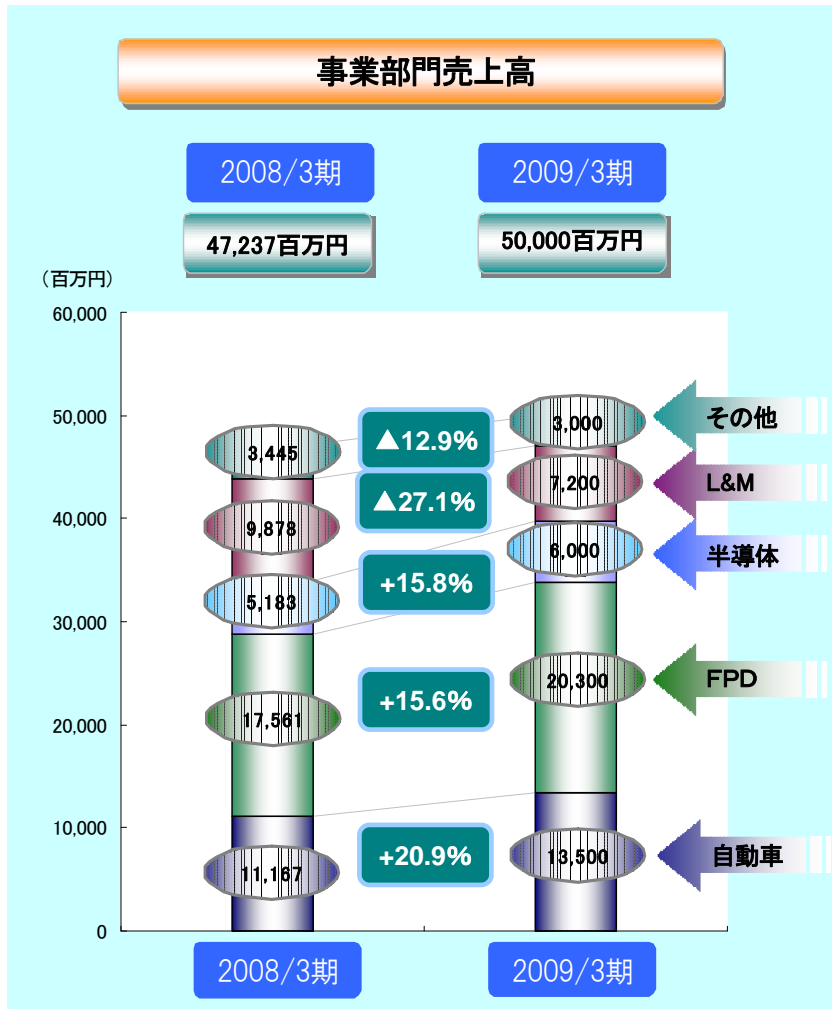


II 2009年3月期業績の見通し

◆業績予想につきましては、前回発表時より修正はありません。

	2008年3月期	2009年3月期			
		上期(予想)	下期(予想)	通期(予想)	対前期増減
売上高	47,237	22,500	27,500	50,000	+5.8%
自動車関連	11,167			13,500	+20.9%
FPD関連	17,561			20,300	+15.6%
半導体関連	5,183			6,000	+15.8%
L&M関連	9,878			7,200	▲27.1%
その他	3,445			3,000	▲12.9%
営業利益(率)	3,177(6.7%)	700(3.1%)	2,300(8.4%)	3,000(6.0%)	▲5.6%
経常利益(率)	3,568(7.6%)	500(2.2%)	2,200(8.0%)	2,700(5.4%)	▲24.3%
当期純利益(率)	1,832(3.9%)	250(1.1%)	1,150(4.2%)	1,400(2.8%)	▲23.6%

事業部門別売上高 見通し



◆自動車関連事業

- ・クライスラー社、カミンズ社の大口案件を中心に約20%の増収
- ・中国市場への本格的な事業展開

◆FPD関連事業

- ・2007年年央までのFPDパネルの需給調整局面を脱し、国内、台湾に加え、中国市場からの受注により約15%の増収

◆半導体関連事業

- ・半導体製造装置市場の低調な状況の中、大手製造装置メーカーへの安定的供給により約16%増収

◆L&M関連事業

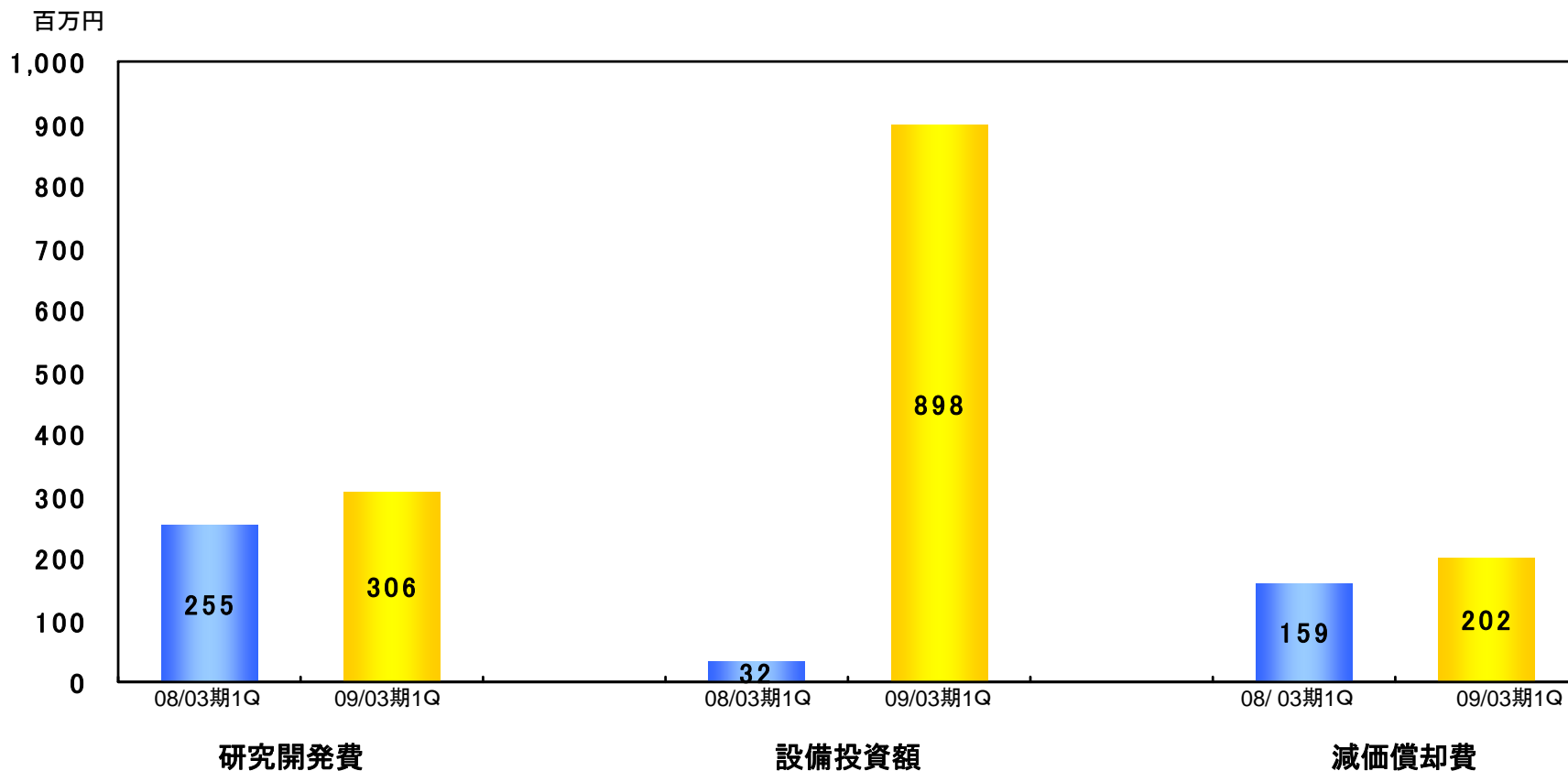
- ・北米・欧州の薄型テレビなどの設備投資は引き続き堅調
- ・国内外のタイヤメーカーの投資は持続するが、当期は売上の谷間となり、約▲27%の減収。



IV 参考資料

2009年3月期 第1四半期 (2008年6月30日)

IV 参考資料



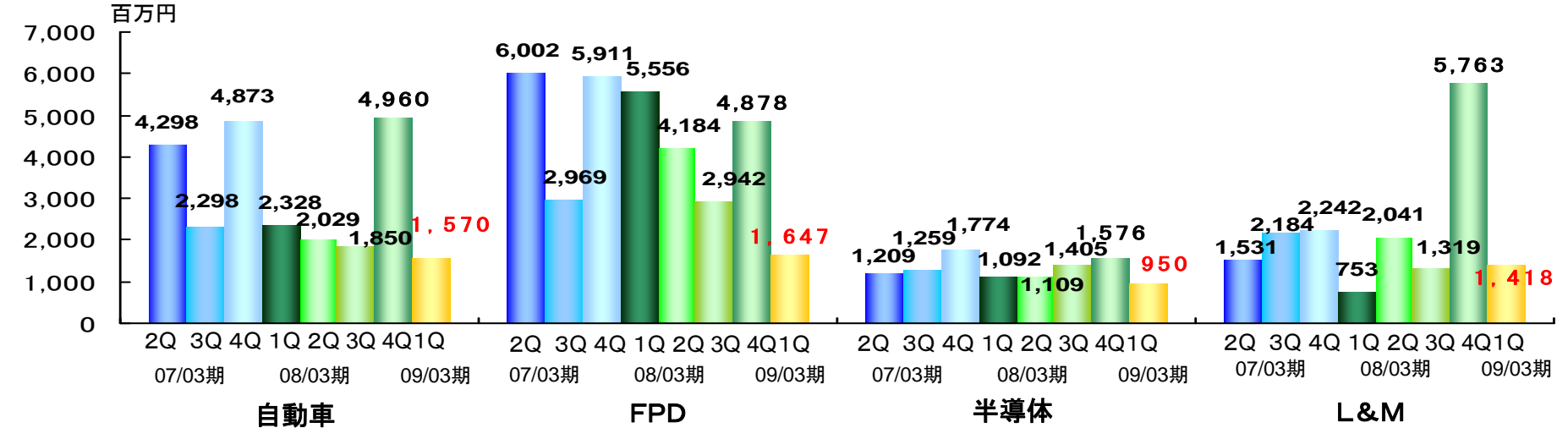
研究開発費:主にFPD関連設備・半導体関連設備の開発等により、306百万円(対前年同期比20.1%増)を計上。

設備投資額:主に七城工場、タイヘイテクノス本社ビル等の建設にかかる費用により、898百万円(同2,660.6%増)を計上。

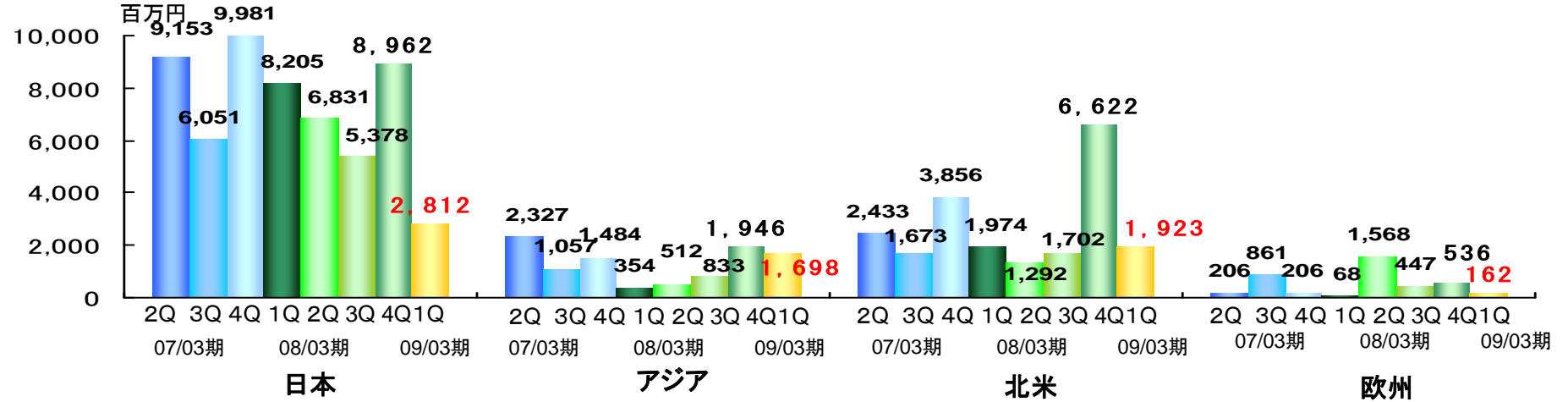
減価償却費:202百万円(同26.7%増)を計上。

IV 参考資料 事業部門別・地域別四半期推移(売上高)

事業部門別四半期売上高の推移

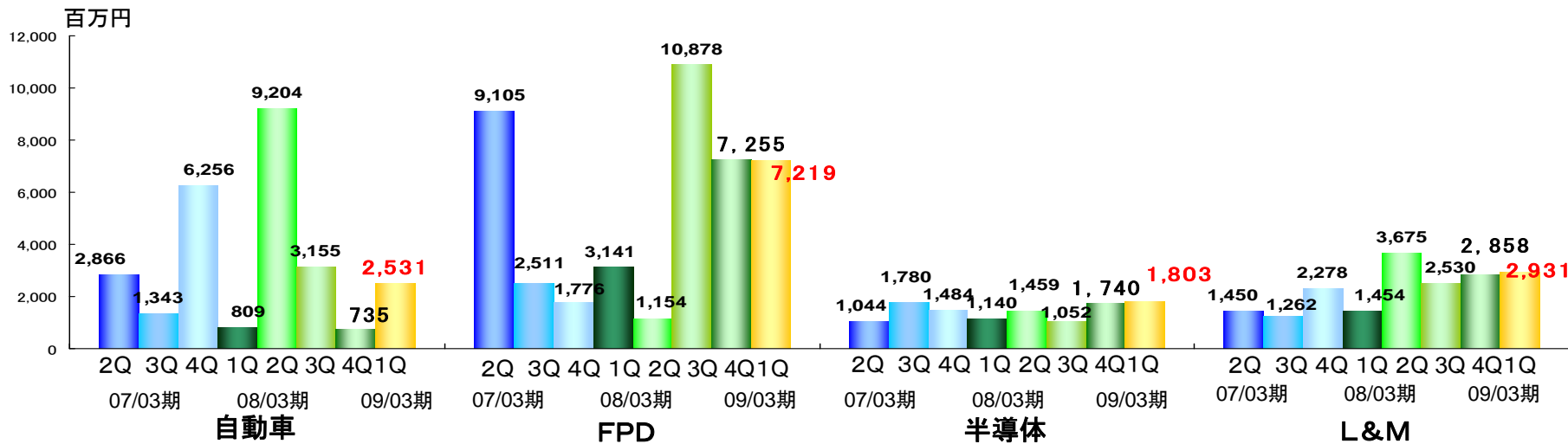


地域別四半期売上高の推移

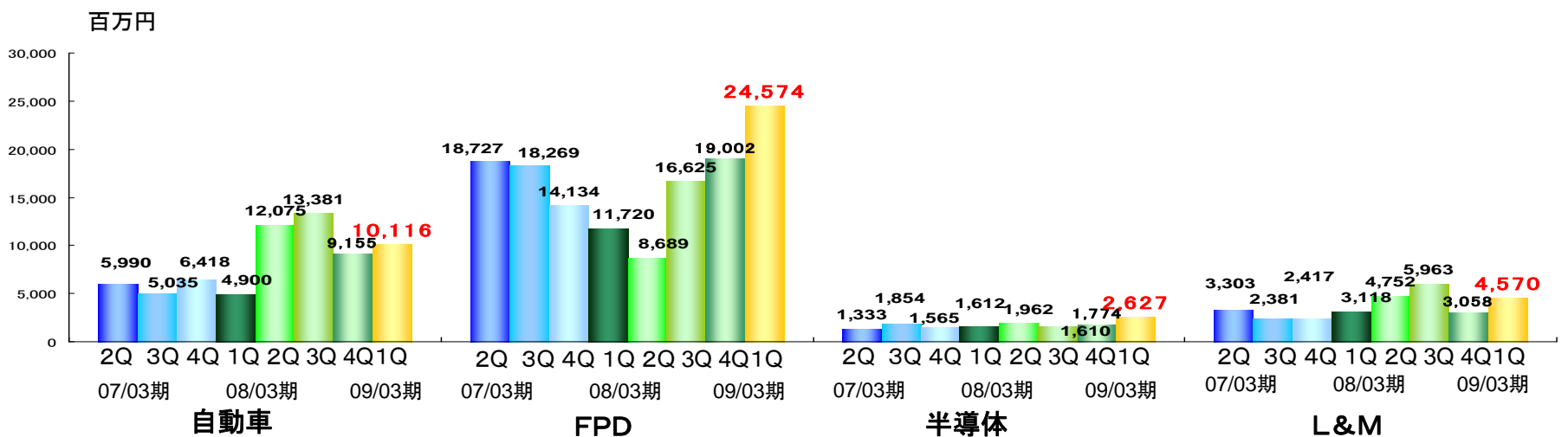


IV 参考資料 事業部門別四半期推移(受注高・受注残高)

事業部門別四半期受注高の推移

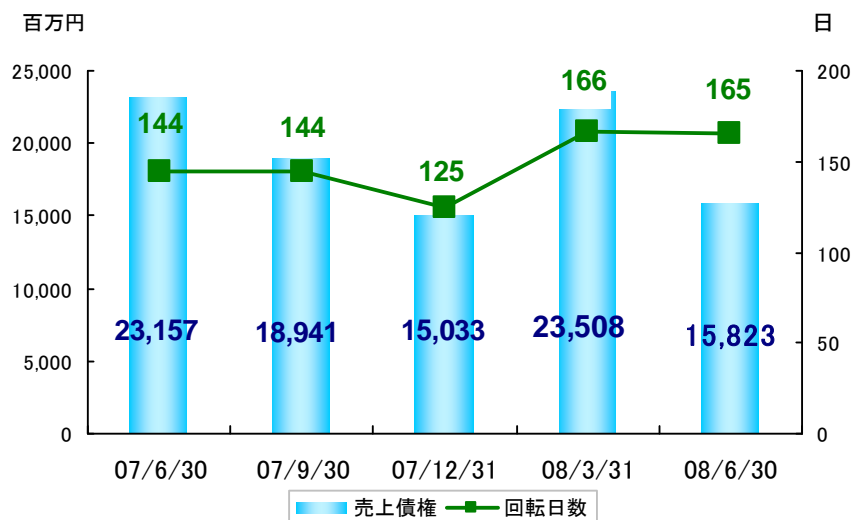


事業部門別四半期受注残高の推移

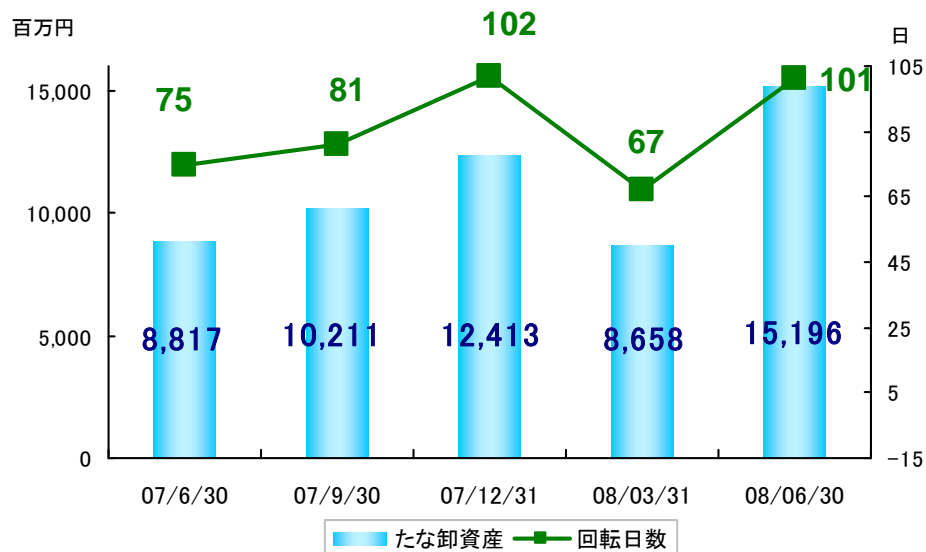


IV 参考資料 主要指標

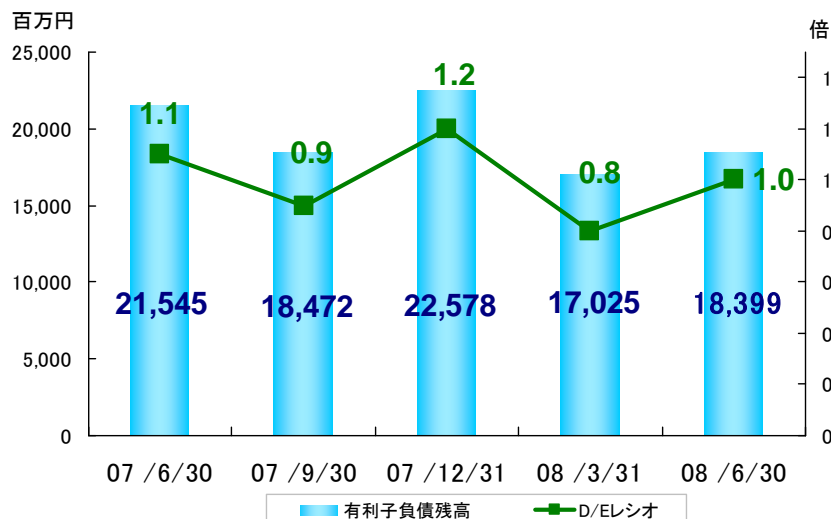
売上債権・売上債権回転日数



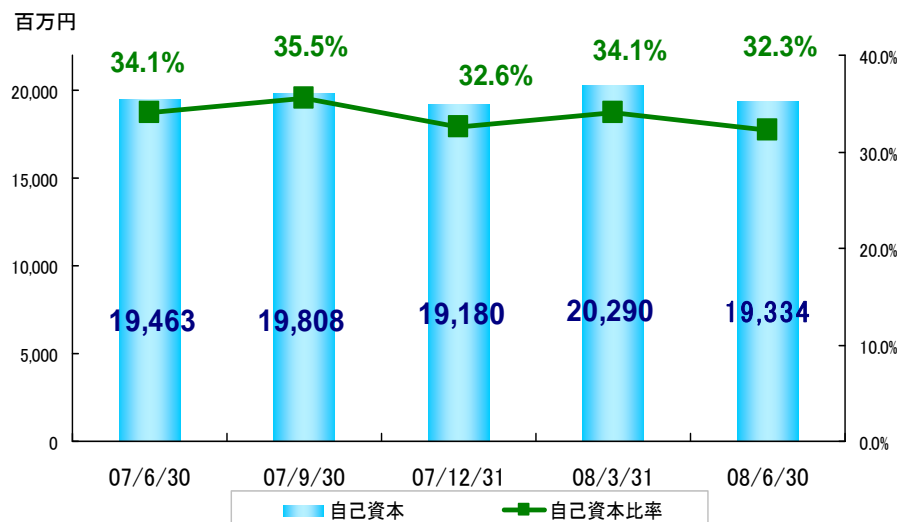
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。